



2023-2024 年度主題  
 国際会長 ウルリック・ラウリドセン (デンマーク)  
 “Let Your Shine”  
 主 題 「輝かそう、あなたの光を」  
 スローガン “Good Communication Is the Cornerstone  
 in Every Cooperation”  
 「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」  
 アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 (川越)  
 主 題 “Be the light for change”  
 「変革のための光となろう」  
 スローガン “Shine and empower through fellowship”  
 「親睦を通して、輝き、力を得よう」  
 東日本区理事 山田 公平 (宇都宮)  
 主 題 “Instil Confidence in our Youth!”  
 「未来のために、学びと気づきを！」  
 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！  
 スローガン “Youth Empowerment through SDGs Youth Action”  
 「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」  
 湘南・沖縄部長 黒川 勝 (金沢八景)  
 「初心に帰って、新たな船出に踏み出そう」  
 クラブ会長 久保 勝昭  
 “良きつながりを持って” 心ひとつに「無理の無い活動を」



## 2023~0024 度次期部長・事業主任研修会 (zoom)

横浜つるみワイズメンズクラブ会長 久保 勝昭

2004~2005、初めて湘南・沖縄部の部長を務めさせて頂きました。その時の主題が「共に支え合い 共によるこびを」“Support each other, enjoy together”であった。今回(2024~2025)も同じ主題にしようと思っている。約20年前と部の状況は、余り変わっていないと思うので“共に支え合い”のスピリットが無くては、この活動はやっていけない様に思うからである。

2023/12/16 午維 1 時開始で zoom による研修会のミーティングが始まった。

開会式の後プログラム1、東日本区理事・山田公平さんの基調講演に約40分耳を傾けた。主題(何をしたいか?何が出来るか?)未定だが、現状のワイズメンズクラブにとって考えさせられる主題である。

### ①ワイズ現況の背景にある3つの問いに答える

問1) ユースエンパワーメントやCS活動をアピール(見える化)ができるか?

問2) クラブライフの充実を通して会員増強を

問3) 社会に意味ある活動を提供できるワイズ運動の在り方は?

○若い人たちを育てるのではなくて育てて行くような環境を作る(対策)

### ②ユースアクション

問1) Ys:ユースアクションxSDGsをワイズの看板に

問2) 東日本区大会@十勝で発表・ユースエンパワーメント事業を興せないか?

・2023・24・25年度ユースアクション計画・エクステンション(松本、長野、横浜)

・クラブライフの充実に必要な何が出来るか?

※活動資金をどう生み出すか? ※ワイズ献金の見直し(テーマ) ○目的が明確なら企業の支援を受ける体制を作る ○表彰制度と助成金等の可能性を(対策)

・活動資金をどう生み出すか(テーマ) ○国内での活動の充実を目指すための工夫と学び、活動資金が必要。ワイズにふさわしい、よいものを見出す1年に。(対策)

### ③国際・交流事業委員会

※国際的なプログラムを立ち上げる(テーマ) ○国別の問題や実情の学び、それを国際的な活動支援と結びつける。(テーマ) ネパール、ミャンマー、スリランカなどのワイズやYMCAと共にできる事を提案して、それとBF、TOH、IBC、と関連付けて人を派遣、招待する。(対策)

山田理事の講演内容は他にも多くのテーマについて話されたが今回はこの3テーマに絞った。

その後3グループに分かれ意見交換を行った。私は富士山部の榎本部長に質問した。現在部の悩みはないかと、すると“無いと”きっぱり言われた。確かに色々な情報によると部は順調に推移しているようである。最後に☆ワイズがYMCAの運営をしている。☆地域との繋がりを頻繁にしている。☆ワイズの活性化はYMCAに頼らない。クラブの単体の事業が活性化を生む。必ずしも部に当てはまらないと思うが研究する価値はある。

《つるみクラブ 11 月定例会》

日時：11/9（木）16:00～18:00

場所：鶴見中央地域ケアプラザ・多目的ホール

出席者：久保会長、渡邊副会長、久米、駒井、島田、中村、野辺、日野、松井、横山、吉本  
欠席者：新改

ビジター：小田嶋さん、荒井さん（久米紹介の方）

プログラム

「司会進行」 渡邊光枝 ピアノ：吉本正子

1. 開会点鐘

※ワイズソング・ワイズの信条

2. 会長挨拶

※ビジターの、小田嶋さんと、荒井さんに自己紹介をしていただきました。

「報告事項」

①北Yうたごえ広場 11/10(金)13:30～15:20

ボランティア（久保、久米、松井、渡邊）

②東本郷ケアプラザうたごえ広場

11/12(日)14:00～16:00 受付13:30より

ボランティア（久保、吉本、久米、松井、渡邊、中村）

③生麦ケアプラザまつり

11/11（土）フリーマーケット実施

開会式は10時より（設営準備は9時より）

ボランティア（久保、久米、駒井（ご夫婦）、中村、松井、吉本、渡邊）

④第27回湘南・沖縄部 部大会（講演・部大会）・評議会

11/25（土）14:00～18:00

場所：横浜とつか YMCA 講堂

出席：久保、渡邊、久米、中村、

「YMCA 報告」島田所長ご挨拶

1. ちょこっと助け隊

(1)「活動報告」

- ・鶴見中央 フィルター張り替え
- ・鶴見中央 マスキング
- ・佃野町 草むしり
- ・鶴見中央 寒さ対策
- ・鶴見中央 タンス位置変え

(2)「依頼検討」

- ・換気扇掃除（エアコン、風呂）1 件
- ・病院同行 3 件
- ・草取り 1 件

「お楽しみプログラム」

1. ビンゴゲーム

※久保会長が寄付して下さった、飲み物と、いろいろなクリスマスケーキを、勝った順に選びました。テーブルには、いつもの例会とは違って、手作りのプリン、持寄りのお菓子などが、沢山並び、パーティーのようでした。つるみクラブ 12 月の恒例行事となり、楽しみのひとつでもあります。久米会計が一人で準備してくれました。来年は皆で準備しましょう。

2. うたごえ広場

（ピアノ：吉本正子 ギター：久保勝昭）

曲目：①花は咲く ②喜びもかなしみも幾年月

③星の界 ④灯台守 ⑤北の宿から

⑥氷雨 ⑦雪の降る街を ⑧ジングルベル

⑨母さんの歌 ⑩冬の夜 ⑪風

⑫マイウエイ ⑬影を慕いて ⑭秋冬

⑮星はなんでも知っている ⑯聖夜

⑰テネシーワルツ ⑱枯葉 ⑲アカシヤ

の雨が止む時 ⑳津軽海峡冬景色

㉑ここに幸あり ㉒アメージンググレイス

㉓吾亦紅 ㉔クリスマス・イブ

※時間の都合で赤い番号だけしか歌えませんでした。㉓吾亦紅は、皆のリクエストで久保会長が歌ってくれました。ステキな歌声に 😊

「連絡事項」

☆つるみクラブ新年例会

日時：2024/1/11(木)16:00～18:00

場所：鶴見中央地域ケアプラザ  
多目的ホール

☆湘南・沖縄部&横浜 YMCA 合同新年会

日時：2024/1/13(土)17:00 から

場所：中華街 廣東飯店

会費：5,000 円を予定する

閉会点鐘 （集合写真）

(2023年12月 データ)

在籍会員数 <sup>㊦</sup>	例会出席者数 <sup>㊦</sup>		出席率 <sup>㊦</sup>
12 名 <sup>㊦</sup>	メンバー	11 名	92% <sup>㊦</sup>
	ビジター	2 名 <sup>㊦</sup>	<sup>㊦</sup>
	合計	13 名 <sup>㊦</sup>	<sup>㊦</sup>

今後の行事予定

・2024/1/6(木)14:00～16:00

「つるみクラブ事務例会」  
神奈川区子安通「つるみクラブ事務所」

・2024/1/11（木）16:00～18:00

「つるみクラブ 1 月例会」  
鶴見中央地域ケアプラザ・多目的ホール



## ～鶴見中央地区活動報告

12月3日、17日（日）鶴見中央地区で7町内会が、4年ぶりに餅つき大会・焼き芋大会を実施しました。4年ぶりということもあり、臼の手入れなどにも時間がかかったとの事でしたが、多くの方が集まり、賑わいと活気が戻ってきました。



寒い日でしたが、地域の皆さんは、思う存分餅つきを楽しみ、おいしく召し上がっていました。鶴見中央 YMCA から、スタッフを出し応援してきました。年明けには、豊岡地区でも餅つきが開催される予定です。

鶴見中央 YMCA 島田 徹

## ～豊岡元気づくり講座～歯科から見た認知症とのかかわり講座～

ハーモニー豊岡に於いて、豊岡元気づくり講座が実施されました。豊岡地区にて継続的に行われている講座です。豊岡地区連合会、豊岡地区老人クラブ連合会、民生委員の方による後援で、「歯科からみた認知症とのかかわりについて」を実施しました。



講師：高橋 秀岳 先生（高橋歯科医院）

歯科から見た認知症とのかかわりについて、高橋先生に話をいただきました。認知症の話の後に歯の手入れについて講義も頂き、参加者からたくさん質問があり、大変熱心に聞いておられました。講座を通し、より多くの人々の理解が深まり、認知症予防で安心して暮らすことができる環境づくりへとつながることを願います。

（鶴見中央地域ケアプラザ 横山）



## 最近のお正月



お正月が昔とずいぶん変わった事を感じる。今から60年ぐらい前はお正月には門松や松飾りなどがどこの家にも飾られていたが、今ではビルや企業の正門ぐらいにしか見られない。時代の変化もあって戸建てが減り、飾りを作成する職人も少なく、その取り付け作業をする職人も少ないからようだ。又正月の風物だった獅子舞もほぼいなくなった。さらに都市部では空き地が減り、凧揚げやカルタ、コマ回しの遊びも見なくなった。テレビの特別番組も前より正月らしさがなくなっている。

おせち料理においても中華や洋食がだいぶはばをきかせている。ただお餅とお雑煮だけは根強く残っている。それに、お年玉の習慣はすたれないようだ。最近は振り込みやスマホにポイントを送る方法もあるようだ。なんとなく寂しい感覚になるのは私だけだろうか？

そして年末年始行事の恒例行事として、我が家でも以前は地方の親戚との交流で暮れに新巻鮭を送りその返礼に自宅をついたお餅を送ってくれたりしていた。

このように、都市部ではめっきり正月らしさは見られなくなったが、何年か前に行った地方の親戚へ行くと、まだだいぶらしさは残っていた。

年末年始の雰囲気はいつになってもいいと思う。（野辺 良一 記）



## 「鶴見消防署 鶴見水上消防出張所 見学」

今回、鶴見大黒ふ頭にある、鶴見水上消防出張所を見学する機会に恵まれ参加をしました。鶴見水上消防出張所は、横浜港をはじめ横浜臨海部、更には鶴見川などの河川で発生する水難事故や船舶火災、コンビナート災害などに対応することを主な任務としていること、任務遂行のために、「よこはま」と「まもり」の2艇の消防艇、救助艇「ゆめはま」、水難救助車が配置され、24時間を2交代で勤務をしていること、隊員は勤務に必要な知識・技術を習得するため日々学習や訓練を行っている等の説明を受けました。

その後、消防艇「まもり」の船内見学と水難救助車の装備品展示・見学をさせて頂きました。

今回の見学会では、鶴見水上消防出張所が、横浜港内だけでなく、市内全域の沿岸部や海域の安全を守るための活動や他県との幅広い協力活動や訓練を行っていることを学びました。（中村 純子 記）



消防艇まもり



消防艇まもり甲板上で  
説明を受ける



救助艇ゆめはま



穴が開いても沈まない、  
ウレタン注入小型救助艇



水難救助隊